

Language Competence ルール

No.	翻訳英文法のポイント	内容説明<センテンス・レベル>文 例
19	受動態Ⅰ…自動詞を使って能動態に	英語では受動態で書いてあっても、日本語では能動に訳すのを、大原則とする The Government is divided on this issue. (この問題に関して、政府の見解は分裂している)
20	受動態Ⅱ…By～を主語にして能動態に	名詞の中に動詞的な意味が含まれる場合、前後関係から主語・目的語などを補って文章の形に読みほどこし、適切な接続詞を補って訳す The house was completely surrounded by the police. (その家は、警察が完全に包囲していた)
21	受動態Ⅲ…暗示された by ～ を主語にして	暗示された by ～ を補い、この by 以下を新しい主語にして能動態に転換する(但し、多くの場合、新しい主語を訳す必要はない) A tree is known by its fruit. (→ by us が暗示される 木の善し悪しは、実を見ればわかる)
22	受動態Ⅳ…受動態のまま	原文の受動態が、「迷惑の受身」に相当する場合は、訳文でも受身のままだに残す(「受益」の場合もあり) He was ridiculed by all his friends (バカにされた) / He was greeted with enthusiastic applause. (受益の例)
23	仮定法Ⅰ…主語に仮定が含まれる場合	動詞が仮定法の形をとっているのに、if…節が見当たらないときは、主語に仮定が含まれていないか検討して、主語をif…の形に読みほどこす An older man would have had more common sense. (もう少し歳が上なら、もっと常識があったはずだが)
24	仮定法Ⅱ…副詞句に仮定が含まれる場合	前項23.のケースで、他の副詞(句)に仮定が含まれていないか検討して、含まれていれば、副詞(句)をif…の形に読みほどこいてから訳す With a little more patience, he could have finished the work. (もう少し我慢すれば、仕事を完成できていたろうに)
25	仮定法Ⅲ…発想を転換する	仮定法の英文で、思い切って発想を転換し、直説法で表現する方法を試みる I wish you could have come with us. (君がいっしょに来れなかったのは残念だ)
26	話法Ⅰ…直接話法を生かす	英語では間接話法で書いてあっても、直接話法で表現すればどうなるか考え、中間的な形で訳す She asked him to turn off the radio. (彼女はラジオを消してくれないかと彼に頼んだ)
27	話法Ⅱ…直接話法を掘り起こす	名詞(句)に疑問詞を導入し、疑問文の形の名詞節に展開して、本人が自問した言葉を再現したのに近づけた形で訳す They don't understand the need for gun control. (→ why gun control is needed なぜ銃規制が必要なのか…)
28	強調構文	It is ～ that … の型の強調構文は、原文の語順を生かし、「～こそ…である」と訳す It is necessary that is the mother of invention. (必要があってこそ発明は生まれる)
29	省略(共通)構文	共通の部分を省略していると思われる文章では、省略されている部分を元に戻してから訳す(日本語としても省略できれば切る) Time heals many things, but not everything. (→ time heals が省略 ～ 時では癒されないものもある)
30	接続詞Ⅰ…Except, Without	Except や Without が現れたら、できるだけ語順にそって訳す(特に not A without B → A をすれば必ず B になる) I cannot hear this song without thinking of my high school days. (この歌を聞くと、高校時代を思い出さずにいられない)
31	接続詞Ⅱ…Until, Before	前項30.ほど明確な公式はないが、特に前半が否定形になっている時、強調構文と結びついている時は要注意 He didn't arrive until the meal was over. (彼が到着したのは、食事も終わった後になってからだった)
32	時制…現在形が職業を表わす場合	現在形が職業を表わす場合がある Jack rents boats. (ジャックは貸しボート屋だ)
<ワード・レベル>		
33	辞書の訳語に引きずられない	create: 創造する / traditional: 伝統的 など、辞書的な訳語にしばられずに訳す
34	多義語	order: 命令 / 注文 / 順番 / 期間 などの複数の意味から最も適切な意味を選び、かつ文意に添った訳語を充てる
35	専門用語・新語	専門用語を正確に訳す。また、新語は、調べた上で定訳、もしくはそれに近い頻度で用いられている場合、その訳語に準拠する